

イベント・研修会・スポーツ・検定など ～専教振主催～

●学校評価等研修会

11月26日、専教振・全国学校法人立専門学校協会の共催により、学校評価等研修会（東京会場）が東京都・ホテルフロラシオン青山において開催された。受講者は163名。

冒頭、学校評価等に関する研究委員会・中村徹委員長（静岡県福祉医療専門学校校長）が開会あいさつを行い、続いて学校評価等に関する研究委員会・小平達夫委員（富山情報ビジネス専門学校）が「平成19年度の調査報告と20年度の調査研究について」と題し、講演を行った。

小平講師からは、平成19年12月に義務化された「学校評価と評価結果の公表」についての解説、19・20年度の調査結果と調査概要に加え、自校の現状が述べられた。

続いて、関口正雄・NPO法人私立専門学校等評価研究機構学校評価検討委員会委員・第二調査部会副部会長が「評価機構のあり方と運営－専門学校等第三者評価の現状と今後について－」と題し、私立専門学校等評価研究機構の概要と評価研究機構が行う第三者評価の内容について解説を行った。

なお、大阪ガーデンパレスを会場として同様のテーマ・講師による研修会が12月3日に大阪で開催され、127名が受講した。大阪会場では専教振鎌谷理事長が開会あいさつにて、今後、更に高まるであろう専修学校における学校評価等の重要性を述べた。

●専門学校留学生担当者研修会

11月27日、専教振・全国学校法人立専門学校協会の共催により、専門学校留学生担当者研修会【東京会場】が東京都・アルカディア市ヶ谷において開催された。出席者は130名。

まず、中山昌秋法務省入国管理局入国在留課法務専門官が「出入国管理の現状と留学生の受け入れについて」と題し、①出入国管理行政の概要、②入国・在留申請手続き、③留学生の入国・在留の現状、④今後の課題、などについて資料に基づき講演した。

続いて、佐藤弘之東京入国管理局留学・就学審査部門首席審査官が「出入国・在留関係等諸申請の実務について」と題し、①取次申請申出・承認について、②入国手続きについて、③在留手続きについて、④その他、などについて資料に基づき講演した。

国際観光専門学校の高野和夫学校長が「専門学校における留学生の受け入れ事例」と題し、①留学生の国籍、②留学生に対する入学試験と学費の優遇措置、③留学生の進路指導と就職、④留学生に受験させる資格、などの事例について説明した。

なお、12月3日には、大阪ガーデンパレスを会場として専門学校留学生担当者研修会【大阪会場】が開催された。講師は中山昌秋法務省入国管理局入国在留課法務専門官、「出入国・在留関係等諸申請の実務について」は植山和重大阪入国管理局留学・就学審査部門統括審査官、「専門学校における留学生の受け入れ事例」はホスピタリティーツーリズム専門学校大阪の那須野達雄外国人留学生室長が、留学生募集、国内での留学生対応の実例について説明した。受講者は94名。本研修会はともに取次申請者資格取得研修会となった。

●CSM 研修啓発交流会

11月29日、専教振認定キャリア・サポーター対象「第2回研究啓発・交流会」が東京都・ホテルフロラシオン青山にて開催された。受講者数は14名。

前半は「中退・進路未決定の若者気質」と題し、工藤啓 NPO 法人「育て上げ」ネット理事長が講演を行った。

後半は CSM 研修運営委員会委員をアドバイザーに、「学習とキャリア～学習成果をいかにキャリア形成に結び付けるか?～」と題して勉強会を行った。

最後に、キャリア・サポーター相互の親睦を深めるための交流会を開催し、盛会のうちに全日程を終了した。

●ビジネス教育「教員と講師のための研修会」

「全ての教育分野、全ての学校でビジネス教育を実践」を目標に例年全国各地区で開催し、今年度は全国 10 会場を予定している。主な内容は、企業が求める人材像についての講演、専門学校の講師陣によるビジネス教育の導入事例、授業での取り組み方、ビジネス能力検定の紹介や指導がポイントとなっている。

後期に実施された会場の研修内容は次のとおり。

大分会場 12 月 19 日 大分県・明日香美容文化専門学校

事例発表①「高等学校におけるキャリア教育の実践」力丸資（長崎県立佐世保商業高等学校）

事例発表②「学生の進路を実現させる B 検指導」山本富子（専門学校ビーマックス）

検定受験の研究「問題作成の視点から」山崎厚ビジネス能力検定問題作成委員会委員長

【参加数 100 名】

京都会場 1 月 30 日 京都府・京都ガーデンパレス

特別講演「企業はどのような人材を求めているのか」関岡克巳三菱電機ビルテクノサービス（株）

事例発表①「学生参加型授業による働く意識付け」渡辺真由美（国際理容美容専門学校）

事例発表②「人に愛され、信頼される学生を育成するための取り組み」松葉伸彦（ホンダテクニカルカレッジ関西）

検定受験の研究「問題作成の視点から」山崎厚ビジネス能力検定問題作成委員会委員長

【参加数 35 名】

●ビジネス教育事例発表研修会

2 月 20、21 日の 2 日間、東京都・都市センターホテルを会場に 60 名の受講者を迎え、第 13 回ビジネス教育事例発表会が開催された。今回は企業講師 3 名を招き、厳しい局面に向かう経営のあり方や人材育成のお話し、IT 系、美容系、ビジネス系専門学校での就職意識やビジネス・スキル向上の取り組み、また高校や大学のクラス報告などが発表された。

岩谷伸一ビジネス能力検定専門委員会委員長の開会あいさつに続き事例発表が始まった。事例発表のタイトルと講師は次のとおり。

概況報告『最近の教育関連諸施策を考える』菊田薫（財団法人専修学校教育振興会）

特別講演『成長を支える組織と人』櫻田厚（株式会社モスフードサービス）

事例発表①『現場の新人研修を授業に導入～理想と現実のギャップを知る～』井上和彦（早稲田美容専門学校）

事例発表②『ジュニア B 検を活用したキャリア教育の実践』新里彰久（沖縄県立浦添商業高等学校）

事例発表③『日本工学院専門学校ならではの実学ビジネス教育』風間恵（日本工学院専門学校）

事例発表④『大学におけるエクステンション講座としてのビジネス教育の位置づけ』常松玲子（広島国際大学）山本公平（広島経済大学）

特別発表①『高付加価値を創出するサッポロビールの人財戦略』葛原義人（サッポロ

ビール株式会社)

特別発表②『B検を組み入れた当社の階層別教育』鹿内智子（ホシザキ湘南株式会社）

事例発表⑤『公務員だから…と言われないためのビジネス指導』横田悟（専門学校ビーマックス）

事例発表⑥『ビジネス能力検定の授業実践例～B検ナビを活用して』杉崎みどり（国際観光専門学校）